

# デジタル教科書構成案／地理的分野

## 第1部 第1章 世界の姿

**第1章の問い** 世界にはどのような国があり、その位置を表すには、どのような方法があるのだろうか。

### 評価規準例

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
世界の六つの州と主な国の位置と名称や、緯度と経度のしくみを理解したり、地図帳のさくいんや統計資料を活用したりすることができる。	国名や国旗、国境線の特徴から、その国の歴史や文化が分かることや、さまざまな種類の世界地図の特色を考察することができる。	地図や地球儀に親しみ、世界の地域構成や位置の表現方法について主体的に追究することができる。

### 展開例

項目	学習課題	本時の目標	指導のポイント
1. 私たちの住む地球を眺めて	地球上の大陸と大洋はどのように分布しているのだろうか。また、世界はどのように区分することができるのだろうか。	(1) 地球儀や地図などを活用し、六大陸と三大洋の位置と名称を理解できる。 (2) 海峡や運河、山脈などにより、世界は六つの州に区分されることを理解できる。	・六大陸と三大洋および六つの州の位置と名称を理解させる。 ・海峡や運河、山脈などにより、世界は六つの州に区分されることを理解させる。
2. いろいろな国の国名と位置	世界のさまざまな国の国名とその位置をつかむには、どのようなことに注目すればよいだろうか。	(1) 地図帳を活用し、世界の主な国の名称と位置を理解できる。 (2) 世界の主な国々の特徴を、地理的な要因や文化的な背景などから考察して説明できる。	・地図帳を活用し、世界の主な国の名称と位置を理解させる。 ・世界の主な国の特徴を、位置関係や自然環境、面積や人口、国旗、文化など、さまざまな要因から考察させる。
3. 緯度と経度	世界の国々や都市の位置を表すには、どのような方法があるのだろうか。	(1) 地球上の位置を緯度・経度を用いて表現できる。 (2) 地図帳のさくいんを活用し、位置を調べることができる。	・緯度と経度のしくみを理解し、地球上の位置を緯度・経度を用いて表している。 ・地図帳のさくいんを活用し、世界の主な都市の位置を調べ、表現させる。
4. 地球儀と世界地図の違い	地球儀と世界地図の長所と短所は、それぞれどのような点だろうか。	(1) 地球儀とさまざまな図法の世界地図を比較し、地球儀と地図の違いを理解できる。 (2) 球体は平面の地図に正しく表せないことに気付き、地球儀と世界地図の長所と短所を考察できる。	・地球儀と世界地図の違いを方位や面積、距離などに着目して理解させる。 ・緯線と経線が直角に交わる地図は、緯度が高くなるほど、実際の面積より大きく表されている理由を考察させる。 ・地球儀と世界地図の違いが生じる理由や、さまざまな種類の世界地図があることについて多面的・多角的に考察させる。